



啐啄同機

若松原中学校学校だより
第6号
令和7年7月18日
発行者 永井高穂



令和7年度スローガン 「挑み 鍛え 前へ」

上記QRコードより、「若松原中学校」ホームページもご覧ください。



サウス SC 宇河地区予選優勝



昨年度、本校サッカー部と雀宮中サッカー部で作られた地域クラブ第一号、「サウス SC」が、先日行われた総体宇河地区予選にて優勝しました。決勝は0-0でPKとなりましたが、PK4-1で、見事勝利し、県大会へと駒を進めました。県大会での躍進を期待しましょう。



各部活動の県大結果は次号でご紹介します。

ブックトーク&読み聞かせ



去年好評だった読み聞かせ。どの学年の生徒も静かに聞き入っていました。いろいろと生徒の興味を引く本を選定し、読み聞かせてくださったボランティアの皆様、ありがとうございました。

お知らせ



本校の教職員の指導方法等について、保護者の皆様から直接話をうかがう機会を設けることで、教職員による体罰・不適切な指導の根絶や指導力向上を図り、信頼される学校づくりに資することを目的とし、校長、副校長による電話、面談等での相談機会を設けますので、ご利用ください。 期間:8月26日(火),27日(水) (9:00~16:00)

フードパントリー

今年もフードパントリーを実施しました。一回目は、2年生でした。SDGsに関する取組を行う一つとして、フードロスの観点から昨年度よりフードパントリーを始めました。一人6、7個のパンなどを持ち帰りました。今回は品物がとても多かったため、部活動の生徒にも声を掛け持って帰ってもらいました。今年度は、あと2回。1、3年生は楽しみにしててください。



WGS あいさつ運動 7/17(木)



今年度3回目のあいさつ運動を実施しました。今年は、生徒と保護者だけでなく、地域の老人会の方々にも呼びかけを行い、パワーアップして行っています。校内でも、生徒会の各種専門委員会の生徒が当番制で、参加しています。「あいさつは人との関係づくりの第一歩」。あいさつが、積極的にできる若中生を目指しましょう。

言葉が運命を形作る ～生徒会のSDGsキーワード「思いやり」から～

目には見えないけれど、大切なものは何でしょう。空気、命、優しさ、心、思いやり…いろいろな答えがあると思います。ここで考えてほしいことは、口から声になって出てくる「言葉」についてです。私は、生徒のみんなには“自分自身を大切に”、“相手（友達）を大切に”、“周りの人（家族や地域の人）を大切に”してほしいと思っています。大切にすることは、その存在を丸ごと認めるということであり、傷つけないことであり、悲しい思いをさせないことです。しかし、残念なことに、学校生活の中には時には相手を傷つける言葉が飛び交うことがあります。声になって出てくる言葉は目には見えません。でも、言葉は、人を優しくしたり、励ましたり、助けたり、温かくしたりします。反対に、時には、人に嫌な思いをさせたり、傷つけたり、ひどいときには命を奪うことさえあります。私にも、深く心に突き刺さった忘れることのできない言葉があります。今でもその時、その瞬間をよく覚えています。反対に、自分ではそんなつもりはなかったのに相手を傷つけるような発言をしていたのだと後で知ったこともあります。どんなに悔やんでも時は元には戻りません。一度口にした言葉は「なかったこと」にはならないのです。この機会に、自分が何気なく使う言葉が相手にとってどういう意味をもつのか、今一度考えてみてください。若松原中学校が、温かい言葉、相手を思いやる言葉であふれ、誰もが安心・安全に過ごすことができる学校であってほしいと思います。夏休みには、自分の使用する言葉について家族と話し合ってみるのもいいでしょう。